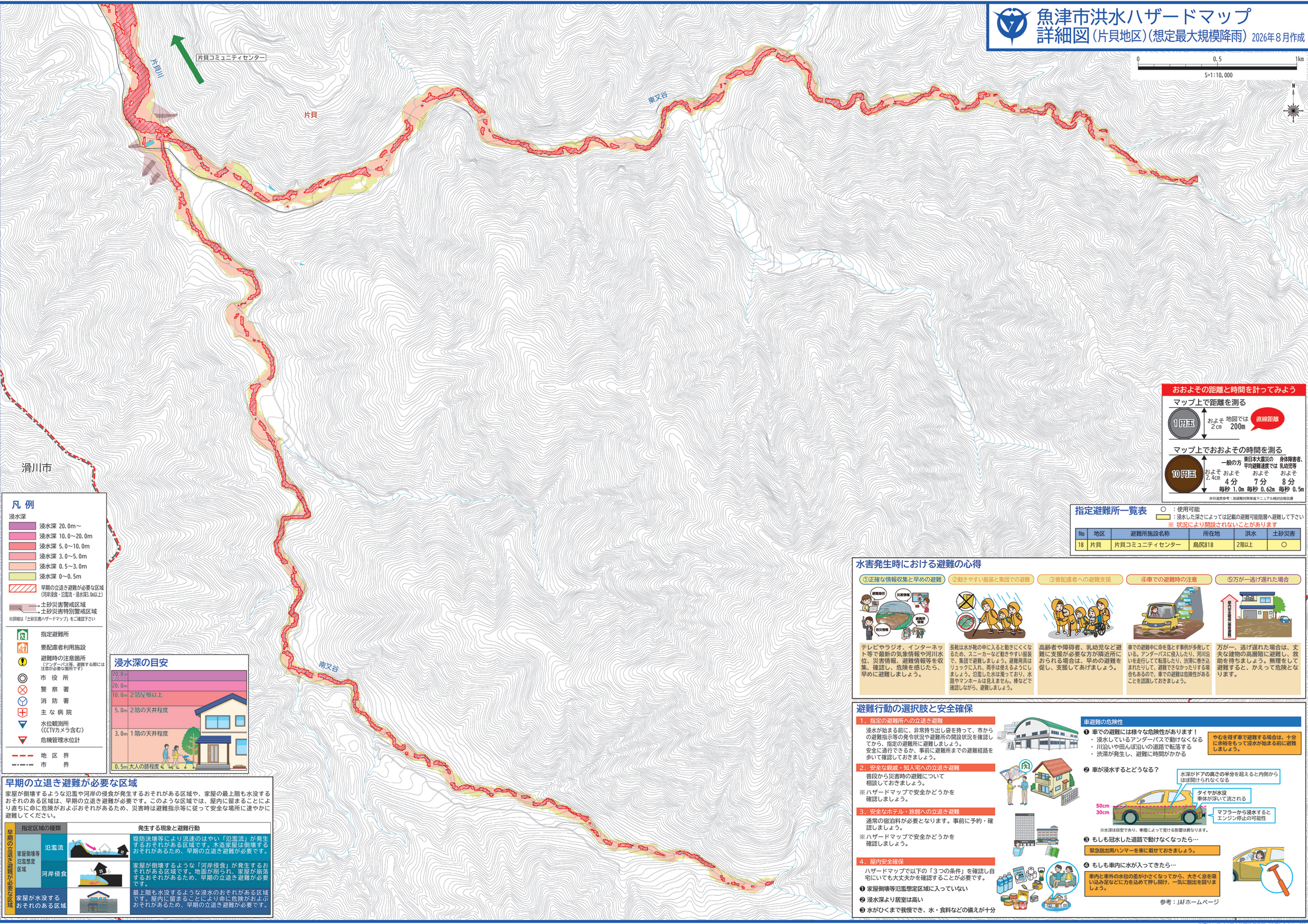
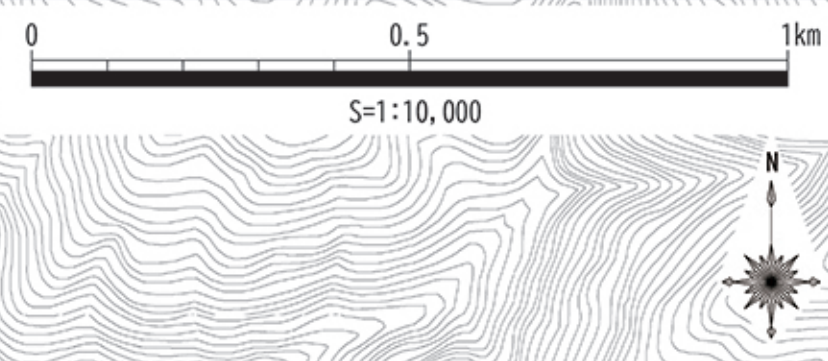




凡 例

浸水深

- 浸水深 20.0m～
- 浸水深 10.0～20.0m
- 浸水深 5.0～10.0m
- 浸水深 3.0～5.0m
- 浸水深 0.5～3.0m
- 浸水深 0～0.5m

早期の立退き避難が必要な区域
(河岸浸食・氾濫流・浸水深3.0m以上)

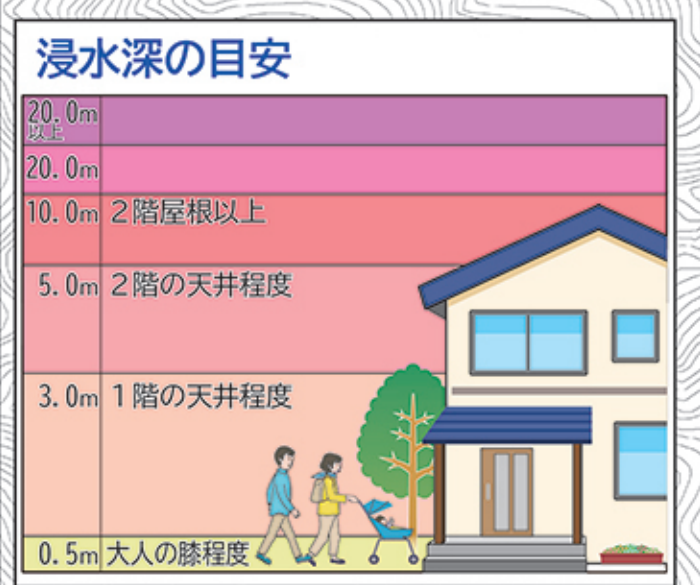
土砂災害警戒区域
土砂災害特別警戒区域

※詳細は「土砂災害ハザードマップ」をご確認ください

指定避難所
要配慮者利用施設
避難時の注意箇所
(アンダーパス等、避難する際には注意が必要な箇所です)

市役所
警察署
消防署
主な病院
水位観測所
(CCTVカメラ含む)
危機管理水位計

地区界
市界



早期の立退き避難が必要な区域

家屋が倒壊するような氾濫や河岸の侵食が発生するおそれがある区域や、家屋の最上層も水没するおそれがある区域は、早期の立退き避難が必要です。このような区域では、屋内に留まることにより直ちに命に危険がおよぶおそれがあるため、災害時は避難指示等に従って安全な場所に速やかに避難してください。

指定区域の種類	発生する現象と避難行動
早期の立退き避難が必要な区域	家屋が水没するおそれがある区域
指定区域の種類	氾濫流
指定区域の種類	河岸侵食

おおよその距離と時間を計ってみよう

マップ上で距離を測る

1円玉

おおよそ 2cm

地図では 200m

直線距離

マップ上でおおよその時間を測る

一般の方	東日本大震災の平均避難速度	身体障害者、乳幼児等
おおよそ 2.4cm	おおよそ 4分	おおよそ 7分
毎秒 1.0m	毎秒 0.62m	毎秒 0.5m

※状況により開設されないことがあります

指定避難所一覧表

○：使用可能
□：浸水した深さによっては記載の避難可能距離へ避難して下さい

No	地区	避難所施設名称	所在地	洪水	土砂災害
18	片貝	片貝コミュニティセンター	島尻818	2階以上	○

水害発生時における避難の心得

- ①正確な情報収集と早期の避難
- ②動きやすい服装と集団での避難
- ③要配慮者への避難支援
- ④車での避難時の注意
- ⑤万が一逃げ遅れた場合

避難行動の選択肢と安全確保

1. 指定の避難所への立退き避難
2. 安全な親戚・知人宅への立退き避難
3. 安全なホテル・旅館への立退き避難
4. 屋内安全確保

車避難の危険性

- ① 車での避難には様々な危険性があります！
- ② 車が浸水するとどうなる？
- ③ もしも冠水した道路で動けなくなったら…
- ④ もしも車内に水が入ってきたら…